

②「経験生かして貢献」

10/26 県教育委員就任 磯部氏、森氏ら抱負

今月15日付で県教育委員に就任した、筑波大工学シ



県教育委員としての目標などを語る森淳一氏（左）と磯部大吾郎氏。県庁

ステム学類長、磯部大吾郎氏とソフトウェア設計開発のユードム社長、森淳一氏の2人が25日、県庁を訪れ、就任あいさつを行った。

磯部氏は自身の英国での学校経験を振り返り「インパクトのある教育を受けた」という印象が残っていて、その経験を茨城でも生かしてみたい」とあいさつ。一方、森氏は高校2年と中学3年の子どもがいることに

触れ、「保護者の視点と経営者の経験を生かして貢献したい」と述べた。また、教育現場について、セキュ

リティーを巡りIT機器の利活用に不自由がある可能性を指摘し、「現場の課題を聞き、提案できれば」と意気込んだ。

県教育委員は、これまで委員を務めていた市原健二氏が8月31日付で退任し、同じく中田俊之氏と中庭陽子氏が今月14日付で任期満了となった。後継として、磯部氏と森氏のほか、今月1日付で医療法人弘仁会志村病院理事長、伊藤道子氏が委員となった。

伊藤氏は学校医を務めた経験から「子どもたちが心豊かで楽しい人生を歩んでいけるよう心身の健康を支援していきたい」と、コメントを寄せた。(川崎陸)